

活性化委員会の状況

ねりまシニアネットワーク (NSN) の同期会は、それぞれ別々に活動していますが、200人以上の会員一同が参加できるイベントはサマーフェスティバルくらいです。NSNは地域での仲間作りが目的の一つです。この活性化委員会は、200人の会員に同期会を超えた仲間作りの場を提供し、会員のネットワークを広げ、より活発になることを目的としています。

コロナの影響で会員の活動も制限されましたが、そろそろコロナも沈静化してくるでしょうから、活性化委員会も本格的に会員が活性化できる方法を検討し始めようと考えています。

すでに始めたのがチャリティーオークションで、これは2回行っています。これからはさらに花見・紅葉散策・麻雀大会・マシック同好会・ボウリング大会等々の開催を検討して、順次行っていく予定です。

この活性化委員会の活動に興味のある方は是非参加してください。一緒にNSNの活性化をやりたい。月例ミーティングは、練馬高野台駅前地域集会所で、毎月第4土曜日13時15分から1時間です。

活性化委員会世話役 大貫雅弘

第3回チャリティーオークションのお知らせ

来る3月2日(木)石神井公園区民交流センターにて開催の運びとなりました。

まだ試行錯誤の段階ではありませんが、従来通りのプライスレスなものに加え「私がお勧めする逸品」という現行品も出展可能となります。

基本的な進め方は同じですが、出展物は開催30分前より展示、また、成約ごとに三本締めする等して結束を高めたいと思います。

チャリティー額は微々たるものが塵も積もれば山となる、の言葉通り、継続する事が大切だと考えます。協力の程、よろしく願います。

活性化委員会 橋本 直樹



同期会訪問①

諸行無常 諸法無我

同期会の今の状況を確認、今後のNSNのあり方を考えることを目的に、各会の方々と個別インタビューを、編集委員の齋藤さんと一緒に昨年10月から始めました。設立年の古い会から順に5つの同期会(四季会・睦会・八展会・新エルフ・トリトンねりま:1997~2005年設立)を取材し感じたのは、諸行無常(すべての事物は変化する)、諸法無我(永遠不変な事物はない)でした。各会とも高齢化が活動に大きな影響を与えていました。

会員の平均年齢が80才を越えて全体的に身体認知機能の衰えが進み、退会者やイベントの減少が目立っています。コロナがそれに追い打ちをかけ、一昨年から活動停止状態の会もありました。しかし、長年にわたる会の活動の思い出を共有する仲間の絆は強く、「残されたメンバーで出来る限り、続けたい。NSNは仲間作りに必要な存在」との意見が多く聞かれ、実績ある活動や街歩きノウハウ等を若い会に引き継ぎたいとの声がありました。次の世代への継承が大きな課題と痛感しました。

NSN会長 武藤 哲

